

飛騨高山観光特集

古い町並にたたずみ、温泉に浸かり、歴史・文化にふれる

春の飛騨高山でリフレッシュ

春の到来告げる見事な枝振り



青屋神明神社の枝垂れ桜。水田に映る姿も美しい

飛騨高山の春を彩るのが美しい桜。県指定天然記念物の荘川桜(荘川町)、国指定天然記念物の臥龍桜(二之宮町)など見応えのある桜が至るところにある。枝垂れ桜は西光寺(清見町)や薬師堂(朝日町)などにもあるが、青屋神明神社の枝垂れ桜(朝日町)は水田に映る姿が特に印象的だ。見頃は4月下旬から5月上旬で、開花時期はライトアップされ、美しい光景が際立つ。西光寺の枝垂れ桜(県指定天然記念物)は樹齢800年以上と推定され、県下でも珍しい枝垂れ桜の巨木。ヒガンザクラの変種といわれ、毎年地表に覆い被さるように花が咲く。幹の形が龍の臥した姿に似ていることから名付けられたのが臥龍桜。樹齢1000余年で、枝ぶりが、高さ20以上に及ぶ日本を代表するエドヒガンザクラの大樹。4月中旬から臥龍公園で「桜まつり」が開催される。

心揺さぶる桜の美の競演



絢爛豪華な高山祭。日本が世界に誇る伝統文化で、開催が待ち遠しい

飛騨高山を象徴する行事が「高山祭」。高山祭の屋台行事はユネスコ無形文化遺産であり、その絢爛豪華さは日本三大美祭の一つに数えられている。高山祭は春の「山王祭」(毎年4月14、15日開催)と秋の「八幡祭」(同10月9、10日開催)の総称。山王祭は城下町の南半分、神様である日枝神社(山王様)の例祭で、上二町・上三町・上三町など各町が舞台になる。新型コロナウイルスにより一昨年は神事のみを行い、昨年は大幅に規模を縮小した。今年は4月14、15日、例年通りの規模と内容で実施されることが決まっている(3月上旬現在)。開催しない高山祭の伝統が途切れないかという思いがある。「特に、子どもたちにおける継承に非常に危機感を持っている」といふ。屋台曳き揃えやからくり奉納、夜祭、御巡幸などが実施されれば多くの観光客が訪れ、飛騨高山観光にとっても大きな追い風となるが、密を警戒し、市は「積極的なPRはせず、地域内の思いに寄り添った形で祭りのサポートに努めたい」と話している。

3年ぶり 4月14、15日開催

絢爛豪華な時代絵巻「高山祭」

新型コロナウイルス感染症は飛騨高山(岐阜県高山市)観光にも影を落とし、町を歩く観光客の姿はまばらだ。しかし、江戸時代の商家が今なお残る古い町並は静かな雰囲気にも包まれ、本来の姿を見せる。高山祭、桜、奥飛騨温泉郷など、魅力は色あせることなく、旅人を引き付ける。春の飛騨高山でホッと一息ついてみてはいかが。

奥飛騨温泉郷

個性豊かな五つの温泉地 100を超える露天風呂



100を超える露天風呂がある奥飛騨温泉郷(平湯の湯)

雄大な自然をバックに、野趣あふれる露天風呂で心も体もリフレッシュできるのが飛騨高山(北アルプス)の麓に広がる奥飛騨温泉郷だ。平湯・福地・新平湯・板尾、

新穂高山温泉は北アルプスの登山口にある温泉地。エリア内には奥飛騨最大の観光スポット、新穂高山ロープウェイがあり、多くの観光客でにぎわっている。

新穂高山温泉は北アルプスの登山口にある温泉地。エリア内には奥飛騨最大の観光スポット、新穂高山ロープウェイがあり、多くの観光客でにぎわっている。

新穂高山の五つの温泉地がある。高山市内からはバスで1時間ほどの距離。湯量豊富で、露天風呂は大小合わせて100カ所以上あり、その数日本一といわれる。新穂高山ロープウェイや上高地、乗鞍スカイラインなど日本屈指の山岳景勝地も近く、雄大な自然を満喫できる。平湯温泉は温泉郷の中で一番古くからある温泉地。関東方面からのアクセスも良く、上高地や乗鞍岳のシャトルバスが発着する平湯バスターミナルがある。自家源泉を持つ宿が多く、入浴施設や足湯も充実。福地温泉は温泉郷の中でも山の静寂に包まれた秘湯的な温泉地。温泉街には朝市があり、地元の特産品を買うことができる。飛騨地域や新穂の古民家を移築、改装した宿も多い。新平湯温泉は温泉郷のほぼ中央に位置し、小規模ながら大規模までさまざまなタイプの宿泊施設がある。飲食店も多い。名水「なるま水」もあり、名水の里ともいわれている。板尾温泉は清流蒲田川と平湯川の合流地点に広がる温泉地。蒲田川はイワナやヤマメなど渓流魚の宝庫としても知られ、釣り人にも人気。

チャリ旅で新たな発見

イーバイク使用 アプリ充実

車では見過ごしてしまうものも、自転車だからこそ発見できる。奥飛騨温泉郷観光協会は自転車での旅「チャリ旅」を推奨している。自然の風を体に感じながら、ゆっくりと見て回るチャリ旅は密にならず、今の時代にピッタリ。e-bike(電動アシスト自転車)やスポーツタイプ、など坂道も楽々。体力に自信のない女性やシニアには打ってつけ。貸し出し料金は1日7時間15500円、半日(3時間)7500円とお手頃。午前9時から午後4時まで、協会が必要。



e-bikeで奥飛騨温泉郷の映えスポットを巡る

事務局で貸し出している。チャリ旅に欠かせないのがウェーブアプリ「奥飛騨ナビ」だ。自転車やバイクを借りたらスマホを装着し、ナビチャリにアクセス。新穂高山、新平湯、双六溪谷の三つのお勧めコースから行きたい場所や見たい景色を選んで出発。撮影スポットに近づいたらスマホが教えてくれるので、オリジナルフォトフレームで映え写真をパチリ。全てのアプリが完成し、奥飛騨温泉郷の特産品が当たるスペシャルプレゼントへの応募フォームが現れる。奥飛騨温泉郷観光協会は20578(89)2614。事前予約が必要。

新穂高山ロープウェイ

学生を応援 星空観賞便運行

日本で唯一の階段 Gondola「新穂高山ロープウェイ」。北アルプスの絶景を堪能できるという観光客に人気だ。2020年7月の開業50周年を記念して Gondola をリニューアル。新しい Gondola はオリジナル・カルパネ社製のヨーロピアンデザイン。ガラス面積を大きく拡大。冬場でも曇ったり凍ったりしない特殊なガラスで、360度景色を楽しめる。コロナ禍による観光客の減少で、2月14日から平日休業となっていたが、3月14日は平日営業を再開した。同時に、学生や卒業旅行の利用客に対して運賃を割引く「学生応援キャンペーン」を開始(4月10日まで)。



わが国唯一の2階建て Gondola

夜間運行「星空観賞便」は、春は4月20日・5月1日と、5月3・5日に実施。運賃は第1ロープウェイ往復で大人2900円、小学生1400円。雄大な北アルプスとともに満天の星を見ることができ、別世界を味わえる。奥飛騨温泉郷の活性化にもつながる。連絡先は奥飛騨観光開発、20577(89)0617。



星空観賞便のチラシ

東山遊歩道

文化財が集積 散策に最適

観光名所・古い町並から徒歩約10分、しっとりとした春の風が吹く。高山の礎を築いた戦国武将の金森長近公の墓が建てられ、東山寺院群が形成されている。遊歩道はそれら貴重な文化財を巡るルートでもある。本誌が県指定文化財とされている法華寺・鐘樓門が市指定文化財の雲龍寺・座禅体験ができる善心寺など、見どころも多い。近くにある子川畔遊歩道もぜひ訪れてみたい。小さな橋がいくつも架かり、趣のある風景が楽しめる。



素丈寺近くの石畳。散策に適している